

令和2年11月28日

関係各機関の長 殿

徳島大学大学院医歯薬学研究部
研究部長 苛 原 稔〔公印省略〕

内科系（精神医学分野）教授候補者の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究部では、内科系（精神医学分野）の大森 哲郎 教授が令和3年3月末をもって退職することに伴い、後任の教授を公募することとなりました。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮ですが、貴学（機関）または関係方面に適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、候補者の方には、選考の過程において公開講演、面談等を実施させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきます。

敬具

記

1. 応募資格
 - 1) 博士（医学）の学位を有する者
 - 2) 日本の医師免許を有する者
 - 3) 精神科専門医、精神科指導医及び精神保健指定医の資格を有する者
 - 4) 精神医学分野における豊富な実績を有し、教育、研究及び診療の積極的な指導実践ができる者
 - 5) 精神医学分野において公正な管理運営を行い、大学院医歯薬学研究部及び医学部の発展に貢献できる者
 - 6) 徳島大学病院の管理運営に寄与できる者
2. 提出書類
 - 1) 履 歴 書 1 通
 - 2) 業 績 目 録 1 通
 - 3) 参 考 資 料 1 揃
 - 4) 論 文 別 刷 1 揃
 - 5) 推 薦 状 1 通※「応募書類作成要領」参照
3. 応募締切日 令和3年1月29日（金）17時必着
4. 書類送付先 〒770-8503
徳島市蔵本町2丁目50-1
徳島大学総務部人事課蔵本人事係
e-mail: jnjin2c@tokushima-u.ac.jp
Tel: 088-633-7018 Fax: 088-633-7474
※郵送の場合は簡易書留で送付し、応募書類を入れた封筒には「内科系（精神医学分野）教授応募書類在中」と朱書すること。
5. そ の 他
 - 1) 本公募文書（応募書類作成要領を含む）については、下記のホームページでダウンロードしてください。
 - ・徳島大学ホームページ(<https://www.tokushima-u.ac.jp/>)
 - ・研究者人材データベース(<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
 - 2) 徳島大学大学院医歯薬研究部の教員選考においては、国籍、性別およびハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公平な選考を行います。
 - 3) 提供していただいた個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

応募書類作成要領

1. 履歴書（※書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) 書式は、A4 判(縦)横書きで作成すること。（別紙「履歴書作成例」参照）
 - 2) メールアドレスは、選考の過程においての諸連絡に使用するもので正しく記載すること。
 - 3) 連絡先は、電話、郵便等での連絡先とし、勤務先又は自宅のいずれかを記載すること。
 - 4) 学歴は、高等学校卒業以降、大学卒業又は大学院修了までの学歴を全て記入すること。
 - 5) 研究生などの履歴は、職歴欄に記入すること。
 - 6) 職歴は、大学卒業又は大学院修了以降の履歴を、空白期間のないよう簡潔に記入すること。
 - 7) 職名、所属講座などの記載方法は別紙「履歴書作成例」に従い、重複期間のあるものには説明を付すこと。
 - 8) 所属学会は、全国規模の学会のみを記載すること。
 - 9) 学術賞等は全国規模の学会賞等を対象とし、大学内での受賞等は対象外とする。
 - 10) 外国出張等は、その期間が2ヶ月以上の外国出張、留学等について記載すること。また、出張等先、当時の身分は英語等による原文で記載すること。
 - 11) 業績内訳は、「2. 業績目録 2)の①～⑪」に記載した事項について集計し記載すること。
 - 12) 業績内訳の（論文数）欄については総数を記載し、併せて筆頭、セカンドオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー、単著をそれぞれ内数で記載すること。その場合、単著は筆頭に含めないものとする。
 - 13) 業績内訳の（学会発表回数）欄については、演者を（ ）により、内数で記載すること。
2. 業績目録（※書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) 書式：A4 判(縦)横書き
 - 2) ①欧文原著（学会の abstract/proceedings は除く）、②和文原著（学会の abstract/proceedings は除く）、③欧文症例報告（学会の abstract/proceedings は除く）、④欧文総説、⑤和文総説、⑥欧文著書、⑦和文著書、⑧国際・国外学会での特別講演、⑨国際・国外学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演は除く）、⑩国内全国学会での特別講演、⑪国内全国学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演、スポンサードレクチャー、研究会の教育セミナーは除く）（⑧～⑪については演者でなくてもよい。）の順に記載し、それぞれに通し番号を付すこと。
 - 3) 全著者名（候補者名にアンダーラインを引くこと）、表題、誌名・書名、巻数、頁（始～終）、発表年（年代順）を記載すること。
 - 4) 主要な論文 10 編に○印を付すこと。
 - 5) 現在印刷中の論文については、その旨を記載すること。
3. 参考資料（※1）～9）は書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) 「2. 業績目録 4)」により○印を付した主要論文 10 編についての要旨（別紙「主要論文要旨作成例」参照）
 - 2) ○印をつけた主要論文の内容を盛り込んだ業績内容の概要（A4 判(縦)横書き：2,000 字以内）（別紙「業績内容の概要作成例」を参照）
 - 3) 今までの取り組みや抱負等
 - ①教育に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - ②研究に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - ③診療に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - 4) 担当授業科目一覧
 （A4 判(縦)横書きで、平成30年度及び令和元年度の担当授業科目等について記載すること。他大学等の授業担当科目等もすべて記載（「授業科目名」欄に大学名等を記載）すること。）

（作成例）

担当授業科目一覧表（平成30年度、令和元年度）

授業科目名	担当年度	年間担当時間数	特記すべき授業内容
〇〇学	H30, R1	前期30時間	
〇〇学実験・実習	H30	通年45時間	
（教育に関する特色等があれば記載してください。（400文字以内））			